



SESERAGI-MISHIMA ROTARY CLUB WEEKLY REPORT

クラブ
週報

2011~2012年度 RI会長 カルヤン・パネルジー

RIテーマ REACH WITHIN TO EMBRACE HUMANITY

こころの中を見つめよう、博愛を広げるために

クラブテーマ「会員同志の職業を理解し出来ることはし助け合おう」会長 渡邊照芳

副会長 太田政人 幹事 山田定男

第1082回 例会 2012.3.9

司会:山本 章君 指揮:石井和郎君

ロータリーソング「我等の生業」

事務所 三島市中央町4-9 小野住理中央ビル2F

TEL 055-976-6351 FAX 055-976-6352

<http://www.seseragi-mishima-rc.gr.jp>

せせらぎ三島ロータリークラブ 検索

例会場 ブケ東海三島

TEL 055-984-0120

毎週金曜日 第1・第3 夜間例会

会長挨拶

会長 渡邊照芳君



本日は、根津延和君の職業紹介をさせていただきます。根津さんは、根津クリニックの院長であり、根津クリニックでは主に脳神経外科、リハビリ科、整形外科の患者さんを診ております。

根津さんがドクターになるきっかけは高校2年の時に読んだ本（人間の脳）これは人の神経に関する本だそうです、その内容がおそらく神経科のドクターになろうと思ったそうです。

大学院を卒業し大学病院から残る様に誘われたそうですが、以前アルバイトをした事のある大学の先輩が開業している横浜の開業医院に勤めたそうです。根津さんがこの病院を選んだ理由は、鎌倉街道に近く200床あるベッドは、いつも事故にあった人達でいっぱいであり、色々な治療の経験が出来るのではないかと思います。

平成4年に今の函南に開業しましたが、以前から開業するなら県東部の地の利・環境の良いこの地域だと決めていたそうです。開業して今年で19年目になりますが、開業当日54人の患者さんが見えられて、今ほどスタッフもおられませんので、目の回る忙しさでした。それから今日まで睡眠時間が足りずそれが辛いです。と言っていました。

しかし以前の患者さんで当時小学校5年の時運動会で転び足のひざをレントゲンで診たら、悪性の腫瘍が出来ており、片足は切断しなければならないと思っていたが、本人の強い希望で切断せず、その部分を取り、骨を移植手術ですます事が出来た、今は大学生でその子供が自分も医学の道に進みたいと言ってくれた、今は忙しく体も大変であるが患者さんが治り自分達の仕事を理解してもらえる事が、うれしいと言っていました。・・・・・・・

そして医学の世界は日々進歩しておりますので、常に新しい技術を取り入れ、自分自身も挑戦してい

きたい。そして何年か後に後継者を育て、自分は適当に仕事をし、自分の時間を十分に取り、好きな釣り・ゴルフ・旅行・絵画とやりたい事が沢山あるので、それまでがんばりますと言っていました。私も根津先生にお世話になっておりますが、忙しい時間の中、非常ににいていねいに検査の結果等説明をしてくれます。根津先生には忙しすぎて、自分の体を壊さぬ様にたまには充分に睡眠を取ってこれからも患者さんの為にガンバッテ下さい。

ようこそせせらぎ三島
ロータリークラブへ

鈴木ちえみさん

佐々木雅浩君(三島西RC)

関 則雄君(三島RC)

おめでとう

会員誕生日	3月15日	渡辺照芳君
入会記念日	3月11日	根津延和君
	3月16日	山口雅弘君

出席報告

	出席総数	出席率	メイクアップ	修正出席率
前々回	30/34	88.24%	33/34	97.06%
今回	26/34	76.47%	会員総数	35名
欠席者	あなたが見えなくて残念でした。			

内田君、久保君、小島君、杉山(隆)君、田中君、西原君、望月君、米山君

卓話

震災復興支援委員会

兼子悦三君

本日はゲストとして鈴木ちえみ様に起こしいただきました。鈴木様は我々震災復興支援活動にご賛同いただき、店内に「募金箱」を設置し義捐金活動を推進して下さいました。この場をお借りして鈴木様に当クラブ会長より「感謝状の贈呈」を致したいと思います。

当クラブでは23年前の設立当初から「青少年支援事業」に力を注ぎ、主な活動としては『職業体験』や先ほど青少年委員会副委員長の岡くんより進捗報告がありました『3年後の自分への手紙』などが本年も進行中でございます。

震災復興支援委員会としましても、未曾有の震災から1年が経とうとし、多々なるご意見を鑑みて、当クラブの根幹である「青少年支援」を目的に今後活動をしていく方針であります。先ず支援先ですが、三島市が支援している岩手県大槌町と山田町と決定させていただき、4月には先遣隊として現地視察を実施し、その後詳細を詰めて参ります。そこで本日はこの貴重な卓話の時間をお借りして各々のテーブルで支援内容等のご意見をお伺いしたいと存じます。

(Aテーブル)

★大槌町・山田町の子供達を三島に招待をし、市内の子供達と交流させ親睦を深める。

★三島の子供達を支援している他団体に協力をしていただき、その団体に関係する子供達の意見を聞きながら「何が出来るか」を考え実行していく。

★RCのスケールメリットを生かしつつ、市内諸団体との協働で実施していく。

(Bテーブル)

★現地の現状を調査してからの後、現地の方が必要としている「何か」を探ってから詰める

★「物」は全国からの支援で山積状態。メンタルケアが必要ではないか(小中学校)

★文通がパソコンになるメール等精神的な交流をしたらどうか？

(Dテーブル)

★小中学校7校に無害図書の贈呈

★小中学校7校に「みしま桜」の植樹(宮澤さん・協会・市議会の協力が必要)

★余談ですが我々も交流を兼ねて「ゴルフ交流会」を希望。

(Eテーブル)

★視察の結果を鑑みて検討(情報の収集を希望)



スマイルボックス

佐々木雅浩君(三島西RC):本日メイキャップで参加させていただきます。よろしくお願いいたします。

片野誠一君:仕事の都合でつづけて例会を欠席して申し訳ありませんでした。

太田政人君:remember 3.11 あれから1年、復興の道は遠く険しい、東北に光を。

中山和雄君:業務の為早退いたします。また、次週の家族会は町内会の総会の為、役員会と重なり残念ですが欠席させていただきます。内田さんよりよろしくお願い致します。申し訳ありません。

□□□□□

委員会報告

青少年育成委員会

杉山 隆君

岡 良森君

先日、2011年度分の「3年後の自分への手紙」の回収が完了しました。

20周年記念事業で始まったこの企画ですが、3年分の手紙を現在、事務局で預かっております。毎年1500名、計4500名弱になりました。

これらの手紙は、今年の夏休みから順次発送することになります。

次年度以降の継続の可否、発送方法の詳細、アンケートの実施、等々検討事項があります。近く皆様に委員会としての提案をさせていただく予定です。よろしくお願いいたします。

